

宗内寺院紹介 64

群馬教区西前橋部

秋元山江月院 光巖寺



当山は慶長十二年（一六〇七年）に総社城主秋元越中守長朝公が菩提寺として建立した。長朝の子泰朝公は寛永十三年（一六三六年）に日光東照宮の造営奉行を務められている。山号は秋元の姓より、院号は長朝公の法号江月院殿より、寺号は長朝公の母公の法号である光巖院殿よりそれぞれ付けられた。

本尊は釈迦牟尼如来、脇土に文殊菩薩、普賢菩薩を安置しており、その他阿弥陀如来、地藏菩薩等をお祀りしている。現在の本堂は一一〇坪で文政三年（二八二〇年）、庫裏は一二〇坪で文化十年（一八一四年）の再建である。

秋元家の御廟は文化九年に再建され、秋元家累代の位牌を安置している。

その他秋元長朝公は利根川より水を引いて天狗岩用水を開削し、肥沃な水田を開発したことで干魃の危機から領民を救った。領民はその徳を慕い、秋元氏移封後一一〇年を経た安永五年に「力田遺愛碑」を建立。毎年十一月には秋元歴史祭りを開催し今に至る。

①本堂 ②山門 ③本尊(釈迦牟尼如来) ④鐘楼 ⑤力田遺愛碑  
⑥秋元家の御廟

群馬教区西前橋部

秋元山江月院 光巖寺

住 所／〒371-0852 前橋市総社町総社1607

電話番号／027-252-2443